

宮脇書店 ドトールコーヒーショップ オープン十周年記念イベント開催!



▼ドトール店長の正木です。今年十一月、開業十周年を迎えた両店合同で開催したイベントをご紹介します。▼十月十五日、日頃頑張ってくれているPAさんへの感謝を込めて、スタッフ全員を招待し、記念パーティーを開催しました。冒頭の社長挨拶では、書店・カフェともに様々な業態の参入が相次いでいる現状を受け、この先も継続して魅力ある店舗としてお客様に選んでいただくためには、「おもてなし」「ホスピタリティ」「サービス」「感動」など、接するポイントが「もの」から「こと」へ転換する必要があると訴えられ、皆聞き入っておりました。そしてパーティー中盤には、熊坂店長から宮脇のスタッフさんに向けてサプライズ!九月にはじめた、話題の「スタイルエフ」のイメージに合わせた新しいエプロンの着用が発表されました。ドトールのスタッフさんには、わたしから日頃の感謝を込めた手紙を一人ひとりにお渡ししました。▼このパーティーで共有した想いを胸に、次の節目となる二十周年へ向けて両店ともに努力して参ります。また、開催にあたって支えて下さった志田課長・穴澤係長・小林主任には心から感謝申し上げます。有難う御座いました。▼...ということで、続いては編集人からご報告致します。このパーティーに続いて、十一月十五・十六日の両日には、ヨークタウン全体の十周年記念イベントも行なわれました(下段写真三枚)。絵本から飛び出した「ティラポン」がお客様を待ち構えたり、株式会社あかしやさんが、自慢の水彩毛筆を利用したお絵かき教室を出展したりと、両日とも相当な賑わいだったとのこと。▼それこそ十年前のオープン当初、飾り付けフェア日本一常連書店と、国内全店舗中のベストスリー常連カフェが両立している姿を想像できたヒトがいたでしょうか。十年一昔。▼ところで本紙もひっそりと八周年を迎えました。こんでは札幌・坂鶴、アイクリンでは春日部・東京がまだ無い頃ですね。



▼十一月十七日より、本社管理部で仕事をさせていただいている長谷川立(はせがわ たつと)と申します。採用面接のため、はじめて本社を訪ねた際、事務所にいらしたスタッフの方々全員から席を立って出迎えていただいたことがとても印象に残っております。営業所と比べると乗客数が少ないオフィスで、このような対応をされている皆様を見たときに、この会社と一緒に働いてみたいと感じました。さて、個人的な話になります。▼来年一月には第一子が生まれる予定であり、先日パパママ教室へ参加してきました。粉ミルクの溶き方や沐浴の練習、妊婦体験など、初めての経験ばかりで戸惑いましたが、同時にたくさんの事を学んでまいりました。今から子供を見るのがとても楽しみです。管理部という部署は、営業所の皆様と関わる機会が非常に多いと思います。まだまだ皆様にご迷惑をおかけするかとありますが、公私共々充実したものであるため全力で取り組む所存です。宜しくお願致します。

新人さんご紹介



王子会研修報告 企画室 原淳

▼十一月二十日、関東東北王子会の研修旅行で王子マテリア(株)大分工場様を訪問しました。エマテ九州調達部佐藤部長から直々にアテンドいただき、九州唯一の白板生産工場(主体は段原紙ライナー)に学んで参りました。詳細な報告書を作成致しましたので、御覧になりたい方は、どうぞお知らせ下さい。